

2023年(令和5年)

第4回

定例会



ひらない 議会 だより

第218号

2024年1月31日発行
青森県平内町議会

ボク、将来は消防士ダ～

23年度補正予算	2～5
ホタテガイ被害対策特別委員会設置.....	6
一般質問 4人登壇	8～11
議員間討議.....	13
議員出欠表.....	14～15
あの人この人 サークル紹介	17～18

消防レスキュー体験
ひらないジョブタウン (小学生お仕事体験事業)
2023年11月3日

2023年 第4回定例会開催 12月4日～8日



2023年第4回定例会を12月4日から8日までの5日間の会期で開催しました。

23年度一般会計補正予算の専決処分の報告、一般会計・各特別会計の補正予算案、条例案など18件が町長から提出され、審議の結果いずれも原案のとおり満場一致で「承認」「可決」しました。

また、議員提案の「平内町議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会設置案」を可決しました。

一般質問には4人が登壇しました。



定例会中は船橋茂久町長が療養中により、代理で山田副町長が職務を果たしました。

補正予算

専決処分

※専決処分とは 議会の権限に属する事項が、緊急で議会招集の時間がない場合、町長が議会に代わって意思決定をおこないます。

一般会計

■23年11月6日専決

児童一人あたり一律3万円支給

2147万円 追加 総額73億6675万円

(万単位で端数処理しています)

歳入	◆県支出金	2147万円	歳出	●青森県子ども・子育て応援金給付事業費	2147万円
----	-------	--------	----	---------------------	--------

物価高騰等の影響を受ける全ての子育て世帯に対し、児童一人あたり一律3万円の給付が23年10月6日に青森県議会で議決されたことに伴い、早急に予算措置を講ずる必要が生じ、専決したものです。



一般会計

ふるさと納税促進事業 など

2億2284万円 追加 総額75億8959万円

主な歳入

(万単位で端数処理しています)

◆地方交付税	9567万円	◆諸収入	2707万円	◆寄付金	2051万円
◆繰入金	5094万円	◆国庫支出金	2156万円	◆町債	640万円

主な歳出

●平内町町内会等運営助成金事業（新）

460万円

1団体に10万円を46団体に交付

公民館を抱えている町内会では冠婚葬祭等での公民館の使用頻度も減り、使用料の収入が見込めず、電気料や燃料費等の上昇により維持管理費の負担が大きくなっています。

また、公民館を抱えていない町内会でも、人口減少による町内会費の減収やコロナ禍での活動自粛からのコロナ禍前の活動に戻るべく様々な活動を行う必要があることから、負担軽減のために助成金を交付します。

※用途は限定せず。町内会や公民館への用途は町内会の裁量です。

●農業関連

・農業用ドローン操縦資格取得費補助金（新）
120万円

・水稻病虫害航空防除事業費補助金 100万円
（23年度当初予算400万円＋100万円）

平内地域病虫害防除実施協議会の運営を支援するために、これまでの400万円から今後500万円を補助します。



▼農業用ドローン操縦資格取得補助金

船橋健人委員 農業用ドローン取得費補助金で人数及び補助率は。

農政課指導監 23年度の予定は8人を見込んでいます。補助率は1/2。30万円程度の見込みで上限が15万円の補助である。

船橋健人委員 漁業関係で、昨今ナマコの密漁がある。漁協から未然防止のためのドローン取得の要望がきているのか。

水産商工観光課長 要望はないが、蓬田村で密漁防止のためのドローン操縦の講習会があったので町職員が研修を受けた。今後、漁協から要望があったら検討したい。

▼町内会等運営助成金事業の継続は

木村良一委員 単年度事業の助成金と伺っているが、町内連合会から継続の要請があった場合は。

総務課長 町内会の財政や活動の活発化のため、恒常的ではないが、24年度も同額の助成をしたい。

●ふるさと納税関連

- ・特典贈呈業務委託料 1572万円
- ・申込受付業務委託料 404万円
- ・事務委託料 330万円



●教育委員会関連

・学校給食センター維持管理事業	536万円
・武道館トイレ洋式化改修工事	650万円
・システム使用料	92万円

▼小・中学校 ホームページ立ち上げ効果は

田中茂勝委員 教育振興費のシステム使用料はホームページを立ち上げて運用とのことだが、運用した際の効果はどのように捉えているのか。

学校教育課長 現在、小・中学校ともないので管外から転入先の学校の情報を知りたい。また、管内の学校でも情報を発信したいと要望があった。保護者との連絡にもアプリで情報発信したものが自動でホームページに載る機能があるので便利である。

田中茂勝委員 どこで運用するのか。

学校教育課長 各学校にお願いしたい。

▼部活動の地域移行の進捗は

太田満則委員 部活動の地域移行の現状と今後の予定はどうか。

学校教育課長 来年度当初予算に、協議会立ち上げの予算を計上する予定である。保護者、児童生徒、関係団体にアンケートを行い、ニーズを把握したい。

▼小学校玄関に電子鎖錠取付け 効果は

田中茂勝委員 3小学校に施すのか。効果は。

学校教育課指導監 東・山口小学校の職員室は1階で、来訪者対応には鎖錠・解錠による問題はないが、小湊小学校は2階で不便なので電子鎖錠だとカメラ付きで、対応がしやすい。

▼旧中学校屋上の太陽光パネルを平内中学校へ

太田満則委員 旧中学校屋上に設置された自家発電用パネルを平内中学校に移設できないのか。

学校教育課指導監 当時、防災事業で設置した。平内中学校への移設を考えたが、移設費等々を算出したが移設先の屋上等の調査費が嵩むので断念した。



●役場庁舎関連

・財産管理費（電気料）	2000万円
・戸籍住民基本台帳事務費（新）	389万円
住民票の写し等による氏名の振り仮名を記載し、今後、マイナンバーカードへの氏名の振り仮名及びローマ字表記等をできるようにするためのシステム改修費です。	
・文書量調査業務委託料（新）	193万円
24年度に予定している新役場庁舎に設計の資料として、書籍等面積を算定するために現在有する文書の量を調査する必要があります。	

●じん介処理費

歳入で漁協からの拠出

・ホタテ残渣収集運搬委託料	299万円
・ " 処理業務委託料	2112万円

●保健関連

・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	
（国庫支出金返還金）	1011万円
・予防接種委託料	1000万円
・乳幼児・子ども医療給付費	848万円

●障害者福祉関連

・障害者自立支援給付費（介護訓練等給付費）	2130万円
・障害者自立支援給付費（国庫負担金返還金）	116万円
・障害児通所給付費	800万円
・移動支援事業委託料	528万円

●夜越山施設管理費（暖房用白灯油） 1200万円

●消火栓新設（小湊地区、松野木地区） 367万円

●シルバー人材センター活用業務委託料

299万円

※今号から質疑者は氏名入りとしました

特 別 会 計

国民健康保険特別会計

★歳入、歳出とも229万円 減額補正

総額19億4269万円

- ・人事異動及び給与改定等に伴う人件費の減額。

介護保険特別会計

★歳入、歳出とも213万円 追加補正

総額15億1500万円

- ・人事異動及び給与改定等に伴う人件費、基金積立金の減額。
- ・一般管理事業費、地域支援事業費の増額。

水道事業会計

★収益的支出 21万円 減額補正

総額2億6463万円

- ・人事異動及び給与改定等に伴う人件費の減額。

公共下水道事業特別会計

★歳入、歳出とも200万円 追加補正

総額3億8462万円

- ・人事異動及び給与改定等に伴う人件費、事業費の増額。

漁業集落環境整備事業特別会計

★歳入、歳出とも49万円 減額補正

総額1億1689万円

- ・事業費の減額。

農業集落排水事業特別会計

★歳入、歳出とも204万円 追加補正

総額1億9766万円

- ・人事異動及び給与改定等に伴う人件費、事業費の増額。

▼カーボンニュートラルへ

田中茂勝委員 太陽光等を設置した際、光熱費の抑制率を試算したことがあるか。

地域整備課長 試算したことがない。

田中茂勝委員 将来的に必要ではないか。

地域整備課長 全庁的な課題と捉えている。

条例 一部改正

期末手当の支給割合を変更

10月6日に青森県人事委員会より職員の給与等に関する勧告が行われたことに伴い、条例を改正するものです。

◆議会議員の期末手当支給条例

◆特別職の職員・病院事業管理者の給与に関する条例

◆教育長の給料等及びその支給方法条例

23年12月期	1.625月 → 1.675月	+0.05月
24年度以降	1.625月 → 1.650月	+0.25月

※年間支給率3.25月から3.30月

◆職員の給与に関する条例

年度	種別	6月期	12月期
23年度	期末手当	1.20月	1.25月
	勤勉手当	0.95月	1.00月
24年度以降	期末手当	1.225月	1.225月
	勤勉手当	0.975月	0.975月

【施行日】公布 23年12月1日 ただし、24年6月期以降の支給割合に係る部分は24年4月1日以降。

◆会計年度任用職員の給与等に関する条例

【改正内容】地方自治法の改正により24年4月1日から会計年度任用職員への勤勉手当の支給が可能となるため、関係条例の一部を改正。

◆国民健康保険税条例

【改正内容】出産予定または出産した被保険者の所得割・均等割を免除。

・単胎妊娠の場合

出産予定月（または出産月）の前月から4カ月間の免除。

・多胎妊娠の場合

出産予定月（または出産月）の3カ月前から6カ月間の免除。

条例 廃止

◆平内町土地開発基金条例

【廃止理由】当面、新規土地の取得予定がないことから当条例を廃止します。

発議

議員提案

平内町議会

ホタテガイ高水温被害対策特別委員会

設置しました

全議員9人で委員会を構成

提案趣旨説明

猛暑の影響による陸奥湾の高水温は、ホタテガイ養殖の稚貝から成貝までの全品目で大量へい死する被害に見舞われ、漁業者のほか加工業者も含めたホタテガイ養殖産業に大きな影響を与えていると懸念しております。

特に大量へい死による産卵前の母貝の不足は、被害が数年にわたって続くものと想定され、ホタテ養殖産業の維持存続に大変危機感を募らせています。加えて、東京電力福島第一原子力発電所の処理水海洋放出を巡り、中国が日本産水産物の輸入を全面的に停止し、水産関係者への影響の長期化も懸念されます。

以上、町議会では早期にホタテガイ養殖業の被害等を調査し、被害対策と漁業者の再生産意欲の確保及び加工業者の経営安定を図るための支援策を検討するため、「平内町議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会」を設置するものであります。



議会運営委員会が提案し、全議員の賛成で特別委員会を設置しました。

委員長 倉内 清一 副委員長 田中 光弘

委員数 9人

設置期間：調査が終了するまでとし、閉会中もなお調査することができる。

調査内容：ホタテガイ高水温被害等諸調査

第1回 特別委員会開催

12月19日、平内町漁業協同組合の専務理事、参事、総務部長、販売係長を迎えて、青少年ホームで意見交換をしました。

初めに、倉内委員長からは特別委員会設置の経緯を報告。一方、専務理事からは特別委員会設置の感謝の言葉があり、管内6支所ごとのホタテガイの被害状況の報告と、町への要望案の説明がありました。

特別委員会では2件以外の要望を質し、1回目の意見交換会を終えました。

第1の要望（親貝対策への助成）

平内町漁協単独政策に町で2500万円

22（令和4）年度の親貝対策では、平内町漁協単独政策として、23年から25年まで年間3000万円の3カ年で計9000万円。町は助成金として、3カ年で2500万円の要望を受けていました。

「23年度は500万円、24年度は1000万円の予算計上の見込みであり、25年度も1000万円お願いしたい」とのことでした。



漁協より4人迎えて 意見交換しました

第2の要望（基金創設への支援）

県 2億円 湾内7市町村で5000万円

ホタテガイタスク数量割合で当町2300万円以上

むつ湾漁業振興会が産卵前のホタテの出荷を保留させる政策として、4億円の基金を創設します。

内訳は県より最大2億円。この支援を最大限に活用するには、同様額の資金作りが必要とのこと。そこで、関係市町村全体で5000万円規模。平内町漁協では平内町に、ホタテガイタスク数量割合に基づき2300万円以上の支援をお願いしたいとのことでした。

◆ 採 決 結 果 ◆

議案番号	提出議案
報告第22号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和5年度平内町一般会計補正予算〕
議案第59号	令和5年度平内町一般会計補正予算案
議案第60号	令和5年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案
議案第61号	令和5年度平内町水道事業会計補正予算案
議案第62号	令和5年度平内町農業集落排水事業特別会計補正予算案
議案第63号	令和5年度平内町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算案
議案第64号	令和5年度平内町公共下水道事業特別会計補正予算案
議案第65号	令和5年度平内町介護保険特別会計補正予算案
議案第66号	平内町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例案
議案第67号	平内町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

議案番号	提出議案
議案第68号	平内町教育委員会教育長の給料等及びその支給方法条例の一部を改正する条例案
議案第69号	平内町病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例案
議案第70号	平内町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
議案第71号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
議案第72号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案
議案第73号	平内町病院事業会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
議案第74号	平内町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
議案第75号	平内町土地開発基金条例を廃止する条例案
発議第8号	平内町議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会設置案

以上19件 全議員賛成

議長交際費を お知らせします	期 間	金 額	主な支出
	10月～12月	62,000円	東津軽郡町村議会議長会議長・副議長 研修視察時費 ほか

※議長交際費 議長が対外的活動をするための経費です。（慶弔費、見舞金、会費など）

一般質問 町政を問う

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。12月定例会では4人の議員が登壇しました。また、今定例会は町長が病氣療養のため欠席となったことから町長の考えや判断を要する再質問は行っておりません。

田 中 光 弘 議員 …… P 8

1 町長選での公約について

田 中 茂 勝 議員 …… P 10

1 水産業の振興について
2 町有地の有効活用について
3 よごしやま温泉での高齢者並びに障害者の入浴について

太 田 満 則 議員 …… P 9

1 地域交通不便の解消にライドシェア導入の働きかけを関係省庁にするべきです

亀 田 弘 徳 議員 …… P 11

1 介護・福祉事業への支援について
2 児童生徒の読書支援を

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。



たなか みつひろ
田中 光弘 議員

町長選の公約実現を

答弁 / 実践に 意欲

田中 町長選挙で掲げた4つの約束（公約）の中から、町長がこれまで公の場で触れてこなかった事業をピックアップし、質問したい。

1つめの約束「子育て教育」

病児保育事業の構想を

病児保育施設整備で、子どもの様態等によって3種類の病児対応型・病後児対応型、体調不良児対応型、非施設型（訪問型）があるが、具体的な構想を示して頂きたい。

副町長 21年度及び23年度に、町職員で構成される政策推進調査研究会で政策テーマとして取り上げている。22年度に担当課で町内保育園へのアンケート調査や、県内の病児保育実施施設の視察を行った。実施可能なものを選択して進めたい。

修学旅行費の補助範囲は

田中 小・中学世帯の修学旅行費補助制度で、補助項目及び補助率は。

副町長 交通費や宿泊費等に要した費用を来年度から全額補助したい。

高校生・大学生向けの給付型奨学金制度の創設

田中 応募資格は。また、給付型創設による「平内町奨学金貸付事業」の存廃並びに返済者への考慮も必要ではないか。

副町長 経済的理由により就学困難、学業成績優秀の方を対象としている。現在の奨学金貸付金とは別枠なので、現在の返済者への影響はないと考えている。

2つめの約束「暮らしと福祉」

田中 「セカンドライフ支援窓口」の説明を。

副町長 60歳以上の中高年層に向けてボランティア、就労、生涯学習等に関する相談情報提供を行う窓口の開設を検討したい。

水道料金負担「軽減制度の創出」

田中 昨年の同僚議員の答弁で「国から臨時交付金が交付された場合に減免も検討」と述べられたが、軽減措置ではなく「軽減制度の創出」に至った経緯は。また、対象世帯及び実施年度と軽減割合は。

4つの約束

1. 平内町子ども達には人生最高のスタートを
2. 住み慣れた地域で、毎日を楽しみながら生きる
3. 産業、自然、街並み、住む、働く等、魅力ある平内町
4. 住民みんなが行政を信頼し、共に明るい未来を築く

副町長 国の補正予算を活用し、軽減を図りたい。対象世帯は公共施設等を除く所得制限なしの4,400世帯の住宅及び事業所を対象としている。実施年度は24年度を予定し、国からの予算配分によるが、概ね3カ月程度を予定している。軽減割合は基本料金及びメーター使用料の免除、口径13mmあたり1カ月で税込1,617円の軽減である。

除排雪要請への対応

田中 地域からの除排雪要請への迅速な対応としているが、現行対応との違いは。

副町長 町民からの苦情や要請には職員及び除雪業者により現場の状況、確認を行った後に必要に応じて対応をとっているが、今後はさらに重点を置きたい。また、町に合ったシステムの構築なども検討したい。

3つめの約束「農林・水産・産業振興」

田中 ①「ほたて対策調査推進監」、②「産業振興相談支援窓口」設置の具体的な説明を。

副町長 ①水産商工観光課ホタテ係が所管事務の他に、ホタテ販売PR、生産方法、産学官民連携、国、県、他自治体と連携した取り組みを担当。併せて漁業関係者の窓口として実態の把握と政策立案、関係機関との調整を行う組織の強化。

②国、県、金融機関と連携した相談支援制度を創出。町内の事業者、漁業者、農業者等が活用できる補助金、助成金の活用方法、各種募集情報、申請方法や起業や各種販売マッチング、事業継承など、総合的に支援したい。

※4つめの約束「役場の強化」も質問しました。

ライドシェア導入 関係機関に働きかけよ

答弁 / 青森県では 具体的な検討なし 時期尚早



おおた 太田 みのり 議員



太田 現在、有料で客を運べるのは、二種免許を持ったドライバーに限られている。一方ライドシェアは、一般のドライバーが自家用車を使うサービスである。県内でも市部の住民の公共交通は地方に比べれば整っていると思われる。しかし、その都市部でも国道などの大通りを除けば利用者が少なくてガラガラで空気を運んでいるようなものだと聞く。一番の原因は地域から人が少なくなったこと、そして利用者のニーズに合わなくなったことだと思われる。地域に来れば来るほどライドシェアの需要はある。町としても早期に地域住民の足として利用できるように関係機関に働きかけるべきである。

町長は最近、議員と共に国土交通省東北運輸局に道路の拡張を陳情・要望してきたと聞く。町民が望んでいるのは道路の拡張でしょうか？

これまで、町は災害時の迂回路として「バイパス道路」の建設を要望してきたと思う。23（令和5）年11月1日現在、町の人口は10,003人と掲載されている。町では毎月人口が減り続けているのが現状であり、道路の拡張は住家のないところは出来としても、住家が連なる箇所の買収・拡張は難しく、一升瓶の注ぎ口みたいに狭まる箇所が出来かえって渋滞すると思う。

道路の拡張よりも「地域の足」の確保がより切実だと思われる。地域住民の足を、交通の利便性の確保・維持のため関係機関に積極的な働きかけを提案したい。



副町長 ライドシェアについては、現在国では年内を目処に方向性を出し、出来るものから速やかに実行していくこととしている。

全国的な動きでは独自に導入を検討している神奈川県・大阪府の2府県である。しかし、安全確保やタクシー事業者の経営圧迫などの根強い懸念が払拭できず、青森県では具体的な検討に入っていない現状にある。よって、関係省庁に働きかけることは時期尚早であると考えている。

町では地域住民の移動手段として「デマンド型乗り合いタクシー」の実証運行実施を進めているので、軌道に乗せたいと考えている。

太田 全国的には特区制度やいろんな工夫をし、地域の足の確保に努めているところもある。外に出ることで年配者の老化が進まない。積極的に外に出るためにも、ただ「座して待っているのではなく」関係機関に働きかけるべきである。



たなか しげかつ
田中 茂勝 議員

環境変化による 水産業の振興は

答弁 / 漁業者、企業、漁業協同組合と一体で

田中 猛暑による陸奥湾の海水温上昇でホタテ稚貝や新貝が大量へい死し、来年からの経営と生活が危機的状況となっている。昨年に続いて母貝不足に起因するラーバの出現数が少なく、気候変動に加え人的要因もあるのではと危惧するが、町長の見解は。また、水産商工観光課には、ホタテ係2名を配置して、水産業振興や漁場環境保全を職務としているが、ホタテ産業を取り巻く環境が大分変化してきている。ホタテ係の組織体制について町長の見解を伺う。

副町長 平内町漁協では以前から親貝対策として、1人5トン以上の親貝づくりを要請しているが、高水温やへい死のリスクで、親貝づくりに意欲的に取り組む漁業者の減少が考えられる。町でもホタテ



ガイ母貝確保緊急対策事業費補助金を、今年度から3年をめどに対策を講じている。町の基幹産業であるホタテガイ養殖を持続可能な産業として、漁業者、企業、漁協と一体となり取り組んでいきたい。

ホタテ係の組織体制は、国、県、研究機関と強く連携し、「ほたて対策調査推進監」を設置したい。

町有地の有効活用を

田中 町所有の普通財産に占める土地の面積は約826万㎡、これから山林部分を除くと約95万㎡で、東京ドーム20個分ほどになる。浜子地区の操車場跡地や廃校となった学校跡地は、大きな面積で1箇所にとままっていることから、様々な活用方法が考えられるが、それぞれどのように活用していく考えか。

副町長 旧西平内中学校は、社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団に貸与を決定。旧小湊中学校は、新役場庁舎に移転する際、現庁舎で保管してい

答弁 / 今後も企業誘致に努めたい

る利用頻度の少ない行政文書等の保管場所として検討している。旧東平内中学校は、現時点では具体的な利用案はないが、ドローン研修施設として活用したいとの民間事業者があることから、計画内容を精査の上、利用の可否を判断したい。旧浜子操車場跡地は、企業誘致目的にインフラ整備を実施済みであり、地域住民の理解を得られるか、地域の振興及び活性化につながるものかなどを検討し、今後も企業誘致に努めていきたい。

高齢者、障がい者 大浴場半額に

田中 65歳以上の高齢者並びに障がい者には、よごしやま温泉の健康棟（小浴場）入浴券が配付され、入浴は1回につき100円の負担で済むよう配慮されているが、高齢者の多くは小浴場を希望せずに、通常料金を支払い大浴場を利用している。

健康館の設置目的を考えれば、高齢者が大浴場を利用する場合には通常の半額程度で利用できるようにすることが望ましいと考えるが、運営規則などを改定し、対応できないものか。

答弁 / 財政的に厳しい

副町長 町民の健康を思えば、割引し、利用回数を増やしていきたいが、現在、65歳以上の方が小浴場ではなく大浴場を利用している割合が80%を占め、半額にすると町が指定管理者に負担する額も増額する必要がある。あわせて、よごしやま温泉は施設の老朽化により 年々修繕費が嵩み、財政的に大変厳しいものがある。

以上のことから、現在行っているポイントによる入浴のサービスや夜越山の日の割引など、多数のイベントを利用しながら入浴していただきたい。

介護・福祉事業への支援を

答弁 / 支援をしていきたい



かめだ ひろのり
亀田 弘徳 議員



亀田 2022年度、特別養護老人ホームの62.2%が赤字、通所介護の利益率もマイナス5%と苦しい経営である。介護・福祉事業は介護報酬等で定められ、近年の物価高、人件費等の上昇が反映されず、運営が困難となっている。

当町は全域に集落が点在し、訪問先への移動が事業の効率を妨げている。事業の継続には地域性を考慮した支援が必要だ。町の考えは。

副町長 町内の訪問介護事業所は、社協運営の1カ所と民間運営4カ所の計5カ所。今のところ廃止

や休止を検討している所はないが、当町のような中山間地域の訪問介護移動時間に係る課題には、国の介護給付費分科会等の意見を踏まえ対応したい。

地域に根差した事業所が末永く事業継続できるよう、地域の実情に応じた必要な支援を検討したい。

亀田 現在、公定価格では想定されていないエネルギー価格の上昇、食材費の上昇への対応には時間的ズレがある。国へ対応を働きかけて頂きたい。また、国の対応が行われるまでの間、町が行う施策を伺いたい。

副町長 現在、県が全国知事会を通して国に要望している。コロナ禍における物価高騰に対して、7月、平内町介護事業所等物価高騰対策支援金を交付した。今後も引き続き、食事の提供に影響する食材費の値上がりや光熱水費の高騰には、事業者の負担を軽減し、安定した事業運営を維持できるよう支援したい。

児童生徒の読書支援を

亀田 読書活動が、児童生徒の学力の向上に直接的、かつ間接的な影響を与えることが、2009（平成21）年度に静岡大学が行った調査で分かっている。五所川原市立松島小学校は、定期的に朝読書や学級文庫まつりを企画し、23（令和5）年度の子供の読書活動優秀実践校となった。我が町でも取り入れるべきだ。

教育長 当町の1日当たりの読書時間が30分以上の児童の割合は40%と全国や青森県より高い。町では各学校で読書タイムやボランティアによる読み聞かせを実施しているほか、児童の読書意欲向上を図るため、読書数の多い学級を放送で全校に知らせるなどの取り組みを行っている。

今後は、読書まつりや学級文庫などの取り組みにも情報提供し、より一層、読書活動が推進されるよう進めたい。

亀田 豊かな読書環境のために学校図書館を充実すべきだ。町の考えは。

教育長 図書購入は、各学校への配分に加え、県

教育長 / より一層 支援したい

立図書館の職員が直接来て助言する学校図書館アシスト事業も利用している。一部高価な図鑑などの入替えが進んでいないため、ふるさと納税の活用等を検討したい。

蔵書管理は教員が多忙で学校図書に時間を割くことが難しくなっているため、学校地域協働活動ボランティア等を活用して学校図書館の充実に努めたい。

亀田 町立図書館で使わなくなった本を学校図書館へ移すのも良いのでは。

教育長 教育委員会内で話し合いして、できるものは実施したい。



委員会の活動

所管事務調査

総務福祉常任委員会



一般廃棄物について 11月14日（火）10:00～

平内町一般廃棄物処理基本計画

「ごみ処理基本計画」と「生活排水処理基本計画」が策定されています。計画期間は2023（令和5）年度から2032（令和14）年度の10カ年で、中間目標年度を2025（令和7）年度、見直し予定を2027（令和9）年度としています。計画に沿い、これまでの10年間のごみ排出量の推移を担当課から説明を受けました。

当町では、資源の分別収集や集団回収等を実施し、ごみの減量化・資源化に係わる施策を展開してきています。しかし、今後の社会・経済等の変化や様々な問題などに対応した循環型社会の構築を目指すには、更なる減量化・資源化の推進とともに、適正な処理をしていく必要があります。

委員からは、身近な減量化・資源化として「家庭用生ごみ処理容器（コンポスト）」の購入費に、町で補助していることを今以上に広報誌等でお知らせすることが大事であり、普及への啓蒙が必要であるとの意見が出されました。

担当課では、周知に今以上に努めていくとの姿勢を示しました。

家庭用生ごみ処理容器購入費補助金

補助金額 購入価格の1/2 上限額3万円

一般廃棄物最終処分場の建設場所の選定は

建設候補地選定委員会から現在地の外の沢埋立地付近か、松野木地区にするかの二者択一の答申が出されています。

町では建設場所の選定にあたり、町民の理解を得てもらうために、今年度中に全世帯を対象としたアンケート調査を行う予定としている、とのことでした。

※アンケート調査は1月中旬に全世帯へ郵送

経済文教常任委員会



箱わなドラム式（クマ用）

鳥獣被害対策について 11月8日（水）10:00～

本年度の平内町においてツキノワグマの出没数が例年の2倍となり、また被害が発生し、クマ罾等による駆除があることから町の鳥獣被害対策の現状について調査を行いました。

1. 平内町の鳥獣被害状況

当町の鳥獣被害状況を確認しました。本年のツキノワグマの出没数は一昨年、昨年は14件であったのに、10月31日現在ですでに29件と倍になっています。山中のクマのエサが不足し、里に出没しているとのこと。また、ニホンザルは21（令和3）年に10件の出没が確認されてから翌22（令和4）年には57件、本年は38件の出没が確認されています。

2. 平内町鳥獣被害対策協議会

20（令和2）年度に実施部隊を設置し、活動しています。構成は青森県猟友会東青支部平内班3人、平内町役場農政課職員11人で構成され、うち狩猟免許のわな猟免許保有者は4人となっています。

質疑

クマ撃退スプレーの購入半額（上限5千円）補助を本年4月より開始したが、申込み件数と実効性はその問いには、実績は5本、有効距離は7～8メートル。クマに接近した状態でないと効果がないので、使用できる状況は限られるだろうとのこと。またクマ避けの防犯ブザーの有効性には、ブザーやラジオなどは慣れることがあるが、鈴が効果があるとされるとのこと。

ニホンジカ関連として、猟期以外はくくり罾で捕獲するしかないが、捕獲率は極めて悪く、11月からの猟期に入ってから捕獲に期待するとのことでした。

一度、人の生活圏に入りこむことを覚えると、人の生活圏で活動するようになるため、捕獲駆除を適切に行う必要があると感じました。

議員間討議

23(令和5)年12月21日

8団体からの「平内町議会に対するアンケート」集計（前号参照）を受けて、議員間討議を行いました。討議前に議長からルールとマナーが述べられました。

- ・否定せず最後まで耳を澄ませて
- ・自分だけ正しいと思わず違いを観察しよう
- ・どんどん意見を出しましょう

◎ 町議会に関心があるか

関心がある 66人

- ・自分の町なので、もっと活性化してほしい。
- ・町民の代表であり、行政の監視役として。
- ・町民として無関心でいられない。

関心がない 4人

- ・議員人数が少ないせいか、活気が感じられない。
- ・期待できない。

記載なし 5人

意見・9割近く関心が高いが、若年者からの回答を増やす手立てを。

※設問質問5項目から抜粋しました。



◎ 今の議会を評価するか

評価する 40人

- ・各議員が勉強して行政のチェック機能として役割を發揮してほしい。

評価しない 30人

- ・町長提案のみでなく、議員自らの意思で町発展のための議案を多く提出してほしい。
- ・活発な意見を出してほしい。

わからない 5人

意見・「平内町議会基本条例」に政策提案を行うことに努めなければならないと謳っている。議員提案は、まさに議員の務めである。
・予算を伴う提案づくりには、職員の協力が必要である。

議員定数 常に協議を アンケート討議後に、定数削減について意見が出されました。

- ・定数削減として人口1,000人に1議員であるなら、当町は10人でよいのでは。
- ・1,000人1議員は某マスコミが世論形成に使ったフレーズであった。
- ・当町は類似人口町とは、産業形成や町内会が広範囲なので比較できない。
- ・前回のように本会議に、いきなり緊急動議で定数削減を提案するのではなく、議員相互間で活発な討議により議論を尽くすことが必要である。

県内30町村を人口順で整理したものです。 21(令和3)年1月1日現在

市町村名	人口	議員定数	市町村名	人口	議員定数	市町村名	人口	議員定数
おいらせ町	25,003	16	六戸町	10,948	12	外ヶ浜町	5,734	11
南部町	17,569	16	平内町	10,639	12	田子町	5,282	10
東北町	17,006	16	中泊町	10,568	13	大間町	5,125	10
五戸町	16,679	16	六ヶ所村	10,131	16	横浜町	4,376	10
七戸町	15,143	16	三戸町	9,690	14	蓬田村	2,687	8
藤崎町	14,789	14	鯨ヶ沢町	9,472	12	今別町	2,495	7
階上町	13,232	14	大鰐町	9,182	10	新郷村	2,352	8
板柳町	13,211	12	深浦町	7,787	12	佐井村	1,912	8
野辺地町	12,891	12	田舎館村	7,687	8	風間浦村	1,796	8
鶴田町	12,484	12	東通村	6,153	14	西目屋村	1,327	6

◆議員会議等出席状況

2023年 月日	会議名	議 員 名 ※○＝出席 ×＝欠席 病＝病欠 －＝所属外									
		小笠原 智鶴子	亀田 弘徳	田中 茂勝	太田 満則	倉内 清一	佐々木 徳正	田中 光弘	木村 良一	船橋 健人	
1月11日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
1月19日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
1月23日	総務福祉常任委員会所管事務調査	○	－	－	－	○	○	○	○	－	
1月25日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
1月26日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1月27日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
1月30日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
2月1日	経済文教常任委員会所管事務調査	－	○	○	○	－	－	－	－	○	
2月8日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
2月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2月28日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	
3月3日	第1回定例会・本会議（開会）・議会活性化特別委員会報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月3日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	
3月6日	第1回定例会・本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月7日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月8日	予算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月9日	総務福祉常任委員会・経済文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月10日	第1回定例会・本会議（閉会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月10日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
3月14日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
3月28日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
4月6日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
4月11日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
4月12日	議会広報編集特別委員会	×	○	○	○	－	○	○	－	－	
4月17日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	－	○	○	－	－	
4月27日	議会活性化特別委員会	○	○	○	－	－	－	○	○	－	
5月17日	経済文教常任委員会所管事務調査	－	○	○	○	－	－	－	－	○	
6月1日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	－	○	○	○	
6月5日	第2回定例会・本会議（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月7日	第2回定例会・本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月8日	総務福祉常任委員会・経済文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

2023年6月～12月

6月9日	第2回定例会・本会議（閉会）	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	○	○	—
6月23日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
6月27日	総務福祉常任委員会所管事務調査	○	—	—	—	○	○	○	○
7月4日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	○	○	—
7月11日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	○	○	—
7月14日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	○	×	—
7月21日	経済文教常任委員会所管事務調査	—	○	○	○	—	—	—	○
7月24～26日	総務福祉常任委員会県外視察研修	○	—	—	—	○	○	○	○
7月31～8月2日	経済文教常任委員会県外視察研修	—	○	○	○	—	—	—	○
9月5日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	—	○	○
9月8日	第3回定例会・本会議（開会）	○	○	○	○	○	病	○	○
9月11日	第3回定例会・本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	病	○	○
9月12日	決算特別委員会	○	○	○	○	○	病	○	○
9月13日	決算特別委員会	○	○	○	○	○	病	○	○
9月14日	総務福祉常任委員会・経済文教常任委員会	○	○	○	○	○	病	○	○
9月15日	第3回定例会・本会議（閉会）	○	○	○	○	—	病	○	○
9月15日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	病	○	—
10月4日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	病	○	—
10月11日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	病	○	—
10月16日	議会広報編集特別委員会	×	○	○	○	—	病	○	—
11月6日	議会活性化特別委員会	○	○	○	—	—	—	○	○
11月8日	経済文教常任委員会所管事務調査	—	○	○	○	—	—	—	○
11月14日	総務福祉常任委員会所管事務調査	×	—	—	—	○	○	○	○
11月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	—	○	○
12月4日	第4回定例会・本会議（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○
12月6日	第4回定例会・本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	病	○	○
12月7日	総務福祉常任委員会・経済文教常任委員会	○	○	○	○	○	病	○	○
12月8日	第4回定例会・本会議（閉会）	○	○	○	○	○	病	○	○
12月8日	議会活性化特別委員会	○	○	○	—	○	—	○	○
12月8日	議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会	○	○	○	○	○	病	○	○
12月8日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	—	病	○	—
12月12日	議会活性化特別委員会	×	○	○	—	○	—	○	○
12月19日	議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○
12月21日	全員協議会	○	○	○	○	○	×	○	○

押さえておきたい 各種ハラスメント

青少年ホームで青森県男女共同参画センター事業部長、高橋 一枝 氏を迎えて下記の題で勉強会を行いました。

- 1「男女共同参画社会はなぜ必要なのか」
- 2「トラブル回避のために押さえておきたいハラスメント」



ハラスメントは人権侵害



私たちのコミュニケーションには言葉が比重を占めています。しかし、最近、メディアで大賑わいのハラスメント。

ハラスメントに適用される3法律

人権侵害としてハラスメントに適用される法律

- ①パワハラ（労働施策総合推進法）
- ②セクハラ（男女雇用機会均等法）
- ③マタハラ・パタハラ・ケアハラ（育児・介護休業法）があります。

ハラスメントは、相手に不快感を与える嫌がらせやいじめ全般を指す言葉です。人格を否定する言葉を浴びせたり、集団で無視したりといった行為が例として挙げられます。

ハラスメントは、個人の尊厳や人格を不当に傷つける許されない行為です。



「男女共同参画社会基本法」施行により、差別間撤廃の動きが活発化。

ハラスメントの種類一覧

- | | |
|--------|-------------------------|
| ①パワー | 優位性を利用し、傷つける行為 |
| ②セクシャル | 性的な言動などで、相手の就業環境を害する行為 |
| ③マタニティ | 妊娠や出産を理由に、相手の就業環境を害する行為 |
| ④パタニティ | マタハラの中でも「父親」に対して行われる |

法律適用外

- | | |
|--------|--|
| ⑤モラル | 反「道徳・倫理」の嫌がらせ |
| ⑥ジェンダー | 性別による価値観に基づく嫌がらせや言動 「男（女）のくせに」 |
| ⑦アルコール | 飲酒に伴う嫌がらせや迷惑行為「飲酒の強要」 |
| ⑧パーソナル | 外見、名前、話し方、特徴などに対しての嫌がらせ |
| ⑨ソーシャル | SNS上での嫌がらせ、「投稿への攻撃的な書き込み」 |
| ⑩セカンド | ハラスメント被害を受けた人が、告発したりした際に受ける「次なるハラスメント」 |

平内町議会基本条例とハラスメント 自覚して活動・行動

第3条【議員の活動原則】

議員は、町民によって選挙された特別職である。したがって、全体の奉仕者であって一部の奉仕者でないことを自覚して活動しなければならない。

第16条【議員の政治倫理】

議員は、倫理性を常に自覚し行動しなければならない。



@CALICO.CAT.ENGLISH



「こどもえいご教室」を開いています

あかさか かおり
赤坂 香織 さん
狩場沢在住

○自己紹介をお願いします

狩場沢駅前で英語教室「CalicoCatEnglishClub」を運営しています、赤坂香織と申します。結婚を機に五所川原市から平内町へ引っ越してきました。2人姉妹（中1・中3）のママです。

青森明の星短期大学を卒業。企業へ就職後にニュージーランドへ1年間留学しました。

○現在の状況はどうですか

2020年5月に教室開講。早いもので3年以上の月日が経ち、少しずつ口コミで生徒が増え、現在3歳から中学3年生の生徒が楽しく英語を学んでいます。英語はコミュニケーションの道具！ですから学んだことは実際にすぐ使う！「使いながら磨いていく」場としてレッスンを提供しています。

ホームページ&インスタグラムにレッスンの様子などを載せていますので、ご興味がありましたら是非のぞいてみてください。



英会話楽しいな～

○町の印象はどうですか

親切で笑顔の方が多い、また自然が本当に豊かで、四季折々でたくさんの楽しみ方ができる町だなという印象があります。平内町に住んで15年。

平内町の新しい魅力に毎年気づかされています。

○抱負を教えてください

ちょっと頑張ったらできた！英語が言えた！小さな成功体験を、レッスンを通じてより多くの生徒さんたちに感じてもらいたい！そう思いながら日々レッスンしています。

今後も同心で続けていきたいと思っています。

議会日誌から

▶▶▶ 11 月 ◀◀◀

- 2日 青森農業協同組合による「要望書」受付～第2青函トンネル構想の早期実現を目指す～特別講演会
- 6日 議会活性化特別委員会
- 8日 経済文教常任委員会所管事務調査
- 14日 総務福祉常任委員会所管事務調査
- 15日 知事を囲む行政懇談会
東郡町村議会議長会役員・事務局長会議
- 16日 小湊小学校創立150周年を祝う会
- 17日 第31回平内町高齢者芸能大会
- 19日 第44回平内町民剣道大会
- 20日 青森県後期高齢者広域連合議会定例会
- 22日 県町村議会議長会理事会
- 26～28日 東郡町村議会議長会議長県外研修視察
- 27日 第73回東津軽郡社会福祉大会
- 28日 県選出国會議員との懇談会
- 29日 第67回議長全国大会
- 30日 議会運営委員会

▶▶▶ 12 月 ◀◀◀

- 4日 第4回定例会開会
- 6日 本会議・一般質問
- 7日 各常任委員会
- 8日 本会議・閉会
議会活性化特別委員会
議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会
議会広報編集特別委員会
- 12日 議会活性化特別委員会
- 19日 議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会
- 21日 議員勉強会
全員協議会（議員間討議）
- 27日 青森地域広域事務組合議会臨時会

議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

2024年 第1回定例会の予定

あなたに 町の未来が 見えてきます	2/22（木）	開会・本会議 議案上程
	2/23（金）	休会
	2/24（土）	休会
	2/25（日）	休会
	2/26（月）	本会議 一般質問
	2/27（火）	予算特別委員会
	2/28（水）	予算特別委員会
	2/29（木）	各常任委員会
	3/ 1（金）	本会議 採決・閉会

▶▶▶ 1 月 ◀◀◀

- 5日 平内町消防団出初式
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 11日 議会活性化特別委員会
- 12日 平内町商工会新春の集い
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 19日 平内町老人クラブ連合会新年会
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 23日 議会ホタテガイ高水温被害対策特別委員会

—第26回—

おらほの
サークル紹介シリーズ



佐藤むつ子さん100歳（左側）
畑井トサスさん 95歳（右側）の
「お祝い会」11/9 おめでとうございます



代表者氏名 中村登茂^{ともすず}鈴先生（坂本秀子さん）前列中央

なによりも踊ることが好きで 稽古に励んでいます

取材者 設立はいつですか？

先 生 1973（昭和48）年に設立しました。

取材者 現在の活動状況はどうですか？

先 生 週2回、月7～8回の個人稽古で、毎年町文化祭に向けての発表に、7歳から100歳の幅広い年齢層で頑張っています。ときおり老人クラブなどの他団体と協力して、群舞（7～8人）の発表も行っています。

取材者 今後の抱負を教えてください。

先 生 笑う、怒り、泣くなどの風情を体で表現し、ときおり古き時代を体験し、礼儀をはじめ、なにより心身を健康に楽しく踊ることを第一に発表しています。

「平内を愛す」「小湊音頭」等、町に関する謡をひとつでも多く創作し、みんなで楽しみたいと思っています。

取材者 議会や議員への一言をお願いします。

先 生 町の文化祭等、議員のみなさんには少しの時間でも頑張っている姿を、ぜひ観てほしいです。踊る人の後押しの力になってくれればと思っています。

また、夢物語かもしれませんが、音響はじめ観覧席のある小ホールがほしいです。よろしくお願いします。

取材者 最後に一言、お願いします。

先 生 毎年、文化祭にはたくさんのファンに足を運んでいただき感謝しております。古典から新舞踊と幅広い日本舞踊ですが、なによりも踊ることが好きで稽古しています。

踊る人、観てくれるみなさんへ、今後ともよろしくお願いします。

編集後記

令和6年能登半島地震で被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。新年早々のことで、ニュースを見るたびに心が痛みます。能登半島の観光と言えば輪島朝市、賑わいのある街並みに早期復興を願うばかりです。

我が町は幸いにも数十年、大きな災害にはあっていないが、こういう時こそ考えなければならない。

「悪い年回りは、むしろいつかは回って来るのが自然の鉄則であると覚悟を定めて、良い年回りの間に十分の用意をしておかなければならない。人間は何度同じ災害にあっても、決して利口にならない。戦争はしたくなくればしなくても済むが、地震はよしてくれと言っても、待つてはくれない」という物理学者寺田寅彦氏の言葉で、自身の気を引き締めようと思う。

小笠原 智鶴子

議会広報編集特別委員会

委員長	太田 満則
副委員長	田中 光弘
委員	小笠原智鶴子
委員	亀田 弘徳
委員	田中 茂勝
委員	佐々木徳正



発行／青森県平内町議会
編集／議会広報編集特別委員会

〒039-3393 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL：017-755-2119
ホームページ：http://www.town.hiranai.aomori.jp/